

令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について
(第2報)

令和8年4月20日16時53分頃に発生した三陸沖を震源とする地震について、地震に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先 地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	4月20日16時53分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	4月20日16時52分
マグニチュード	7.7(暫定値;速報値の7.5から更新)
発生場所	三陸沖(宮古の東100km付近) 深さ 19km(暫定値;速報値 深さ約 10kmから更新)
発震機構	西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界で発生した地震
震度	【最大震度5強】青森県の階上町(はしかみちょう)で震度5強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度5弱~1を観測
長周期地震動の観測状況	宮城県北部、秋田県内陸南部で長周期地震動階級3を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

（防災上の留意事項）

- 4月20日の地震で揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

（今後の地震活動の見通し）

- この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間と同程度の地震が連続した事例があることから、揺れの強かった地域では、4月20日の地震発生から1週間程度、最大震度5強程度の地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

（北海道・三陸沖後発地震注意情報について）

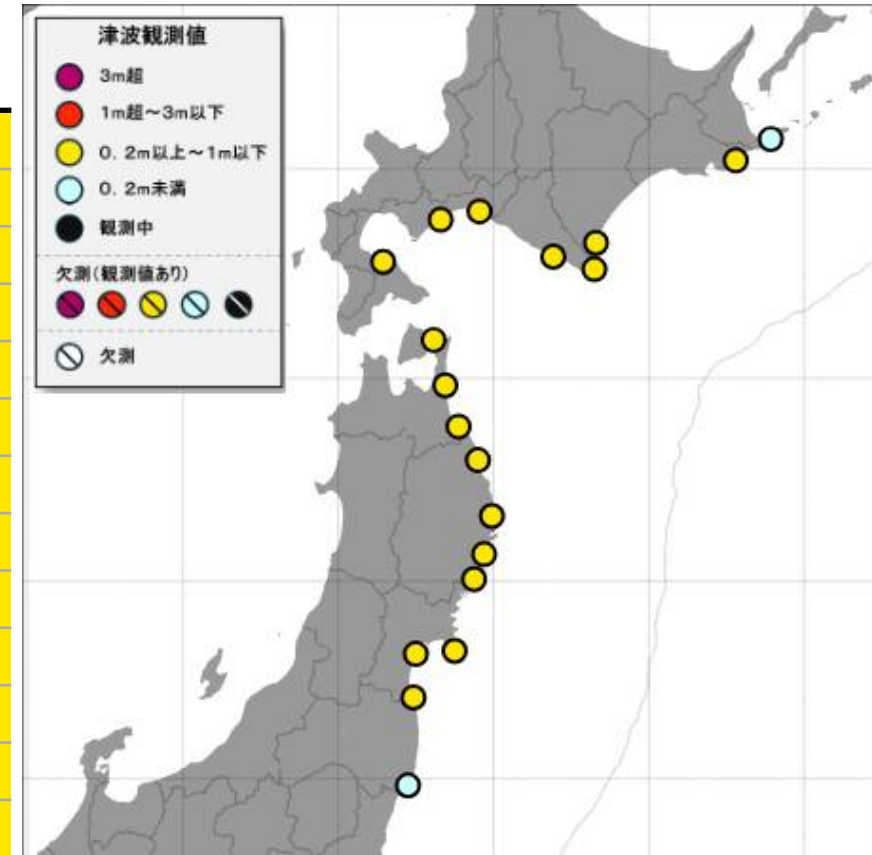
- 4月20日に発生した地震により、気象庁は4月20日19時30分に北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表しました。政府では、防災対応をとるべき地域に対して、地震発生から1週間、「特別な備え」及び「日頃からの地震への備えの再確認」を実施するよう呼びかけています。引き続き、政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

津波の観測状況

【主な観測点の観測値】

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
久慈港	岩手県	20日17:26	20日17:34	0.8m
浦河	北海道太平洋沿岸中部	--	20日18:31	0.4m
八戸港	青森県太平洋沿岸	20日17:37	20日18:39	0.4m
宮古	岩手県	20日17:10	20日17:22	0.4m
十勝港	北海道太平洋沿岸中部	--	20日19:21	0.3m
えりも町庶野	北海道太平洋沿岸中部	--	20日21:38	0.3m
苫小牧東港	北海道太平洋沿岸西部	--	20日20:46	0.3m
白老港	北海道太平洋沿岸西部	--	20日22:23	0.3m
石巻市鮎川	宮城県	20日17:38	20日19:34	0.3m
仙台港	宮城県	20日18:16	20日18:45	0.3m
相馬	福島県	20日18:12	20日21:10	0.3m
浜中町霧多布港	北海道太平洋沿岸東部	--	20日18:59	0.2m
渡島森港	北海道太平洋沿岸西部	20日18:16	20日21:01	0.2m
むつ市関根浜	青森県太平洋沿岸	20日17:49	20日18:12	0.2m
むつ小川原港	青森県太平洋沿岸	20日17:33	20日20:46	0.2m

4月20日22時33分時点



※大津波警報または津波警報を發表中で、観測された津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」と發表します。

※検潮所での津波の高さです。沿岸の地形の影響などにより、局所的に高くなることもあります。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の観測状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

津波の観測状況

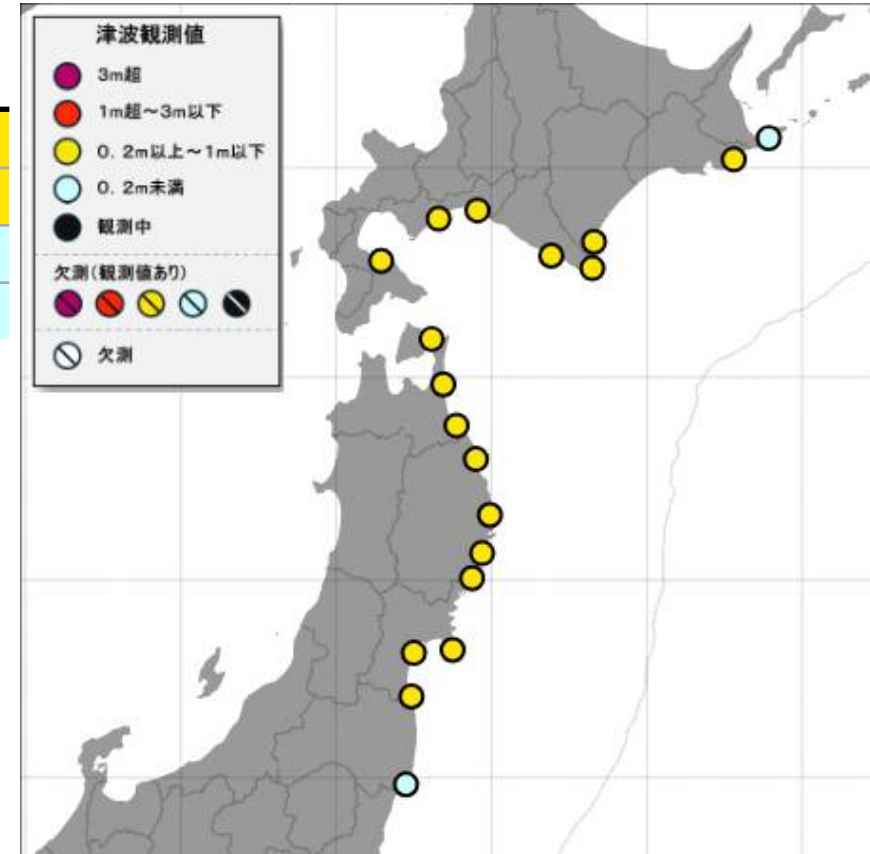
【主な観測点の観測値】

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
大船渡	岩手県	20日17:21	20日17:28	0.2m
釜石	岩手県	20日17:19	20日18:41	0.2m
根室市花咲	北海道太平洋沿岸東部	20日17:51	20日20:05	0.1m
いわき市小名浜	福島県	20日18:09	20日20:23	0.1m

※大津波警報または津波警報を發表中で、観測された津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」と發表します。

※検潮所での津波の高さです。沿岸の地形の影響などにより、局所的に高くなることもあります。

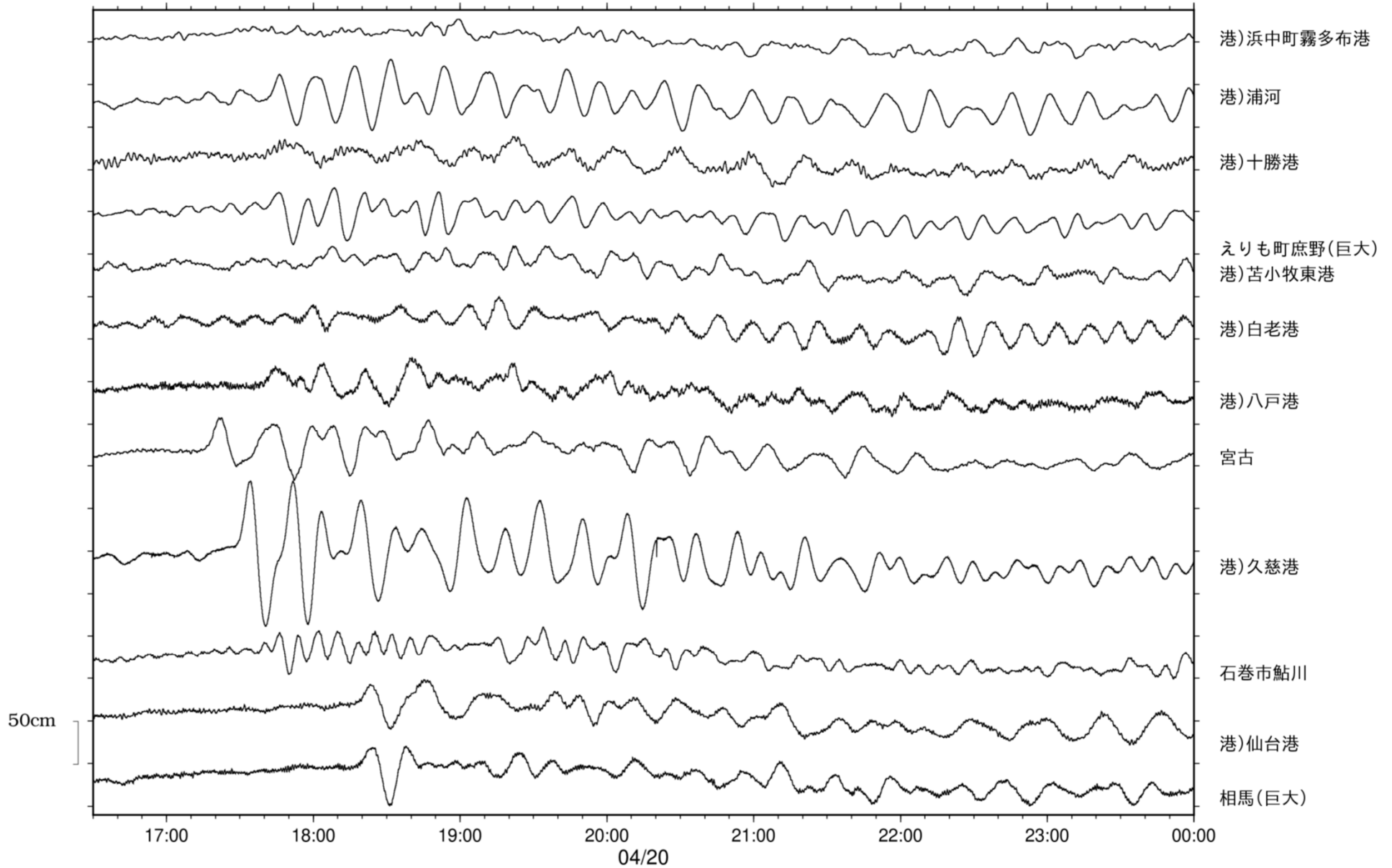
4月20日22時33分時点



最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の観測状況: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

津波波形図



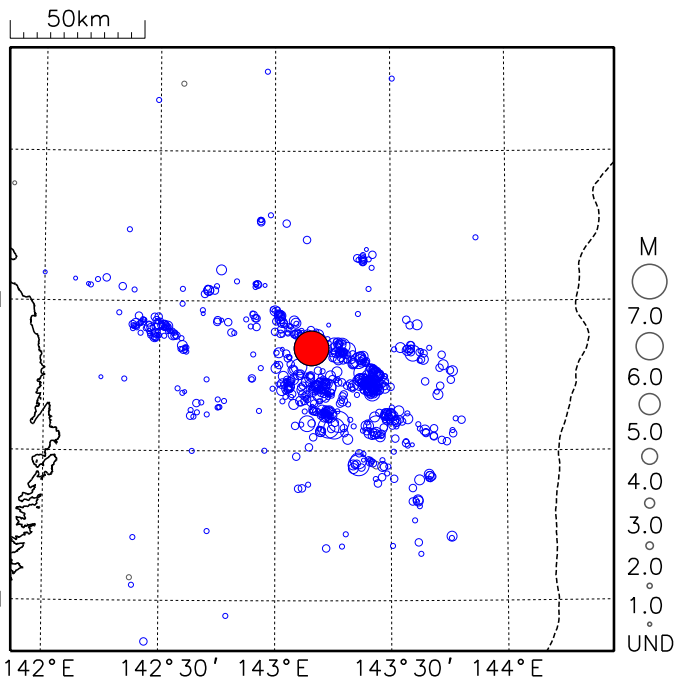
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

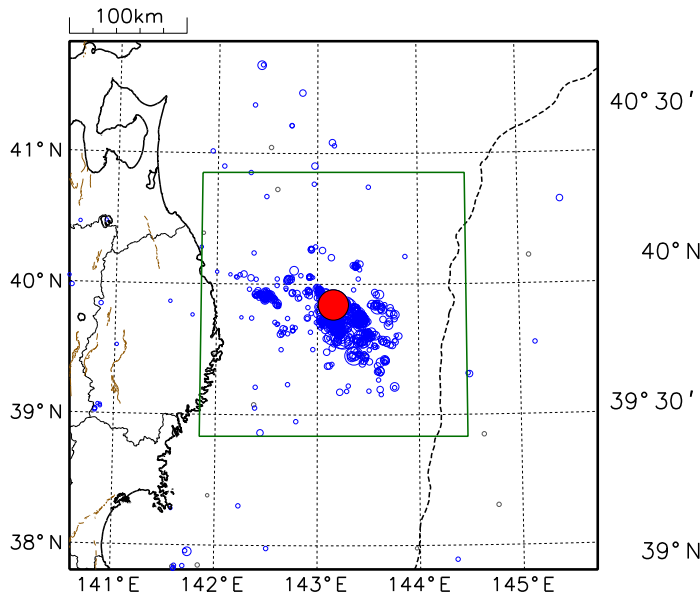
2026 04 20 14:00 -- 2026 04 21 13:00



震央分布図（広域図）

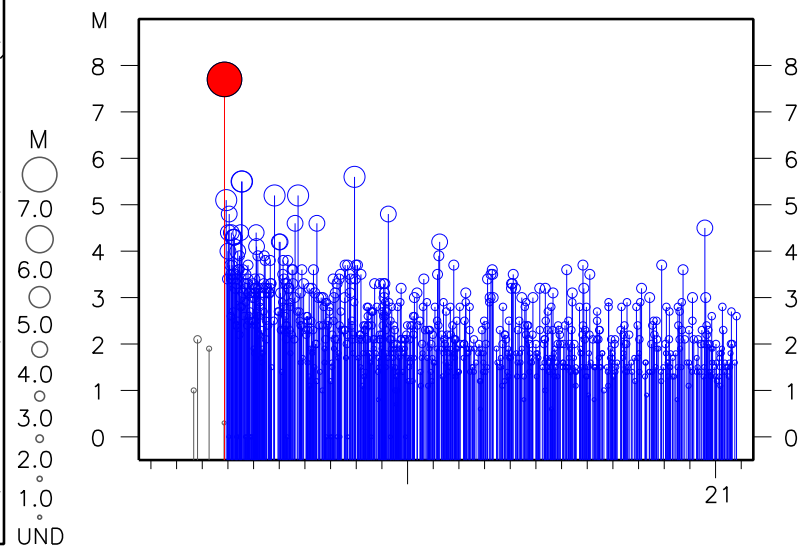
深さ0 -- 100km、 M 全て

2026 04 20 14:00 -- 2026 04 21 13:00



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 04 20 14:00 -- 2026 04 21 13:00



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

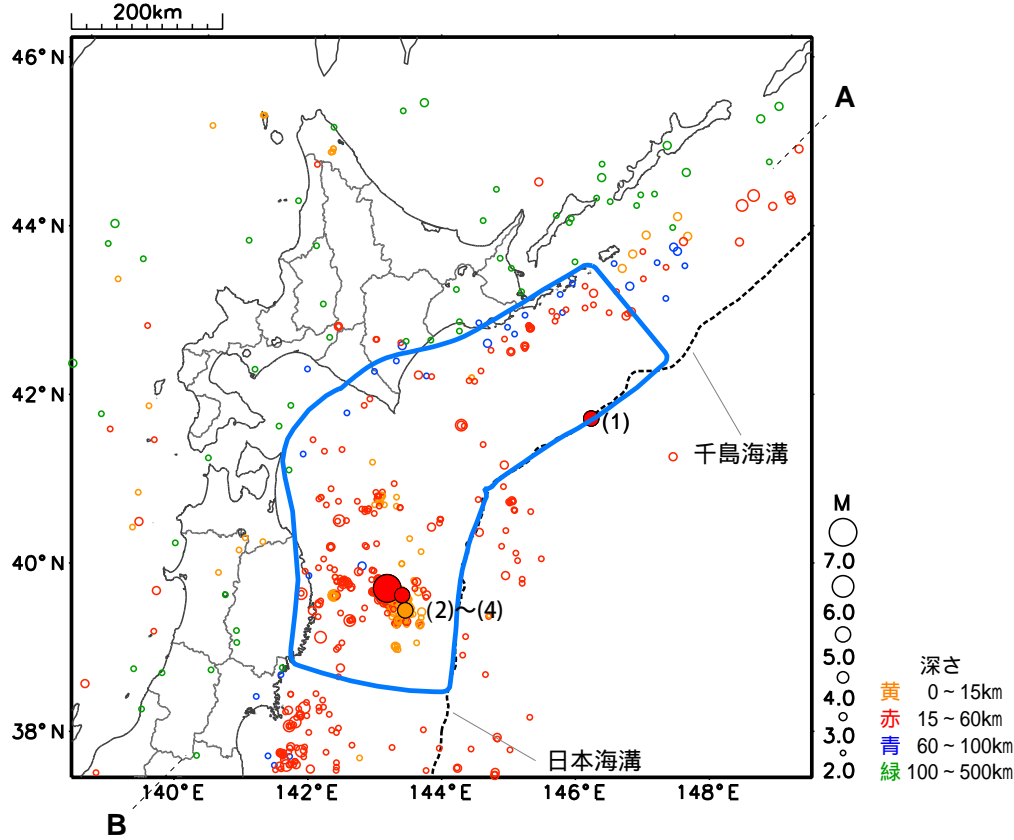
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

最近の千島海溝・日本海溝周辺の地震活動

2026年4月1日～4月20日

震央分布図 (2026年4月1日～4月20日、M 2.0、深さ0～500km)



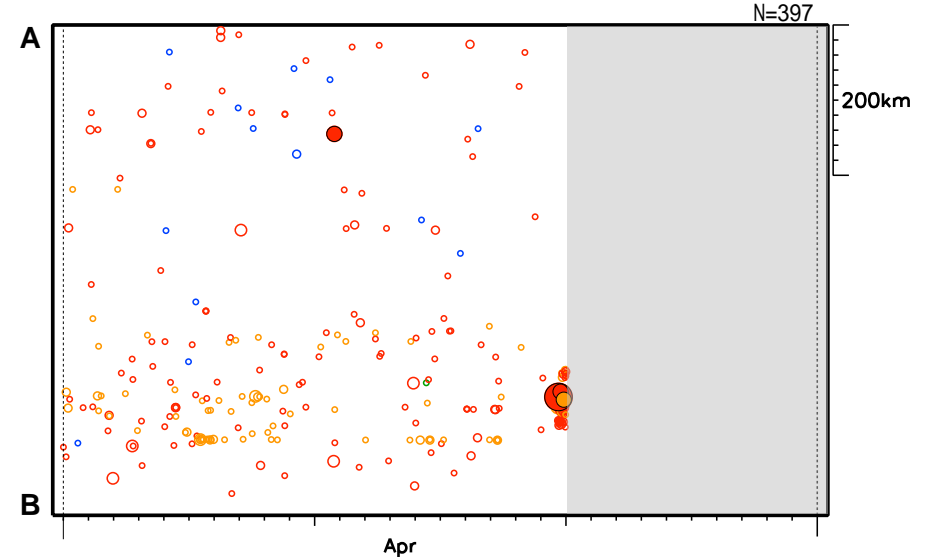
青の実線は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「十勝・根室沖」及び「日高・三陸沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

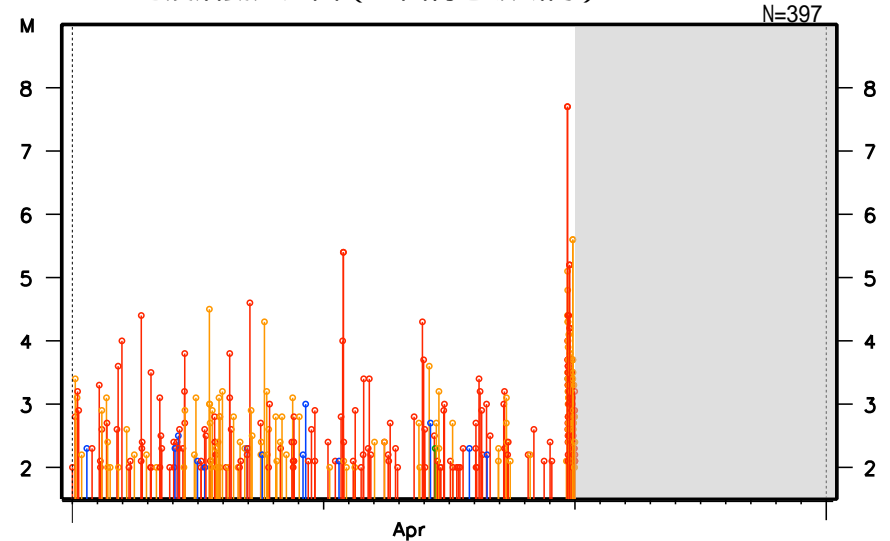
- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震 (最大5つ)
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載
- ・2026年4月20日の震源データは未精査

● (1)	04月11日 18時49分	M5.4	最大震度 2	釧路沖
● (2)	04月20日 16時52分	M7.7	最大震度 5強	三陸沖
● (3)	04月20日 18時49分	M5.2	最大震度 2	三陸沖
● (4)	04月20日 21時56分	M5.6	最大震度 3	三陸沖

時空間分布図 (左図青色領域内：A-B投影)



地震活動経過図 (左図青色領域内)



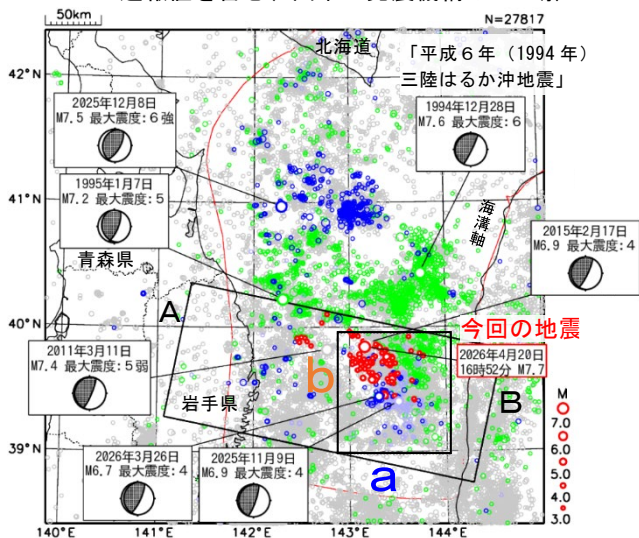
4月20日 三陸沖の地震

震央分布図

(1994年10月1日～2026年4月21日10時00分、
深さ0～100km、M \geq 3.0)

- 1994年12月28日21時19分～1995年1月31日
- 2025年11月1日～2025年12月8日23時14分
- 2025年12月8日23時15分～2026年4月19日
- 2026年4月20日以降
- 上記以外の期間

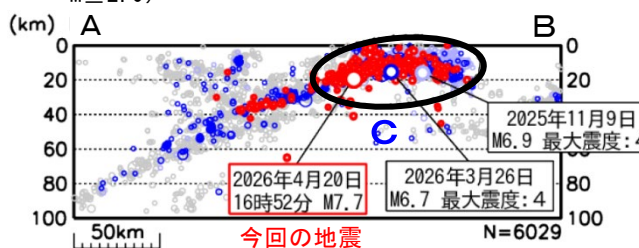
速報値を含む、図中の発震機構はCMT解



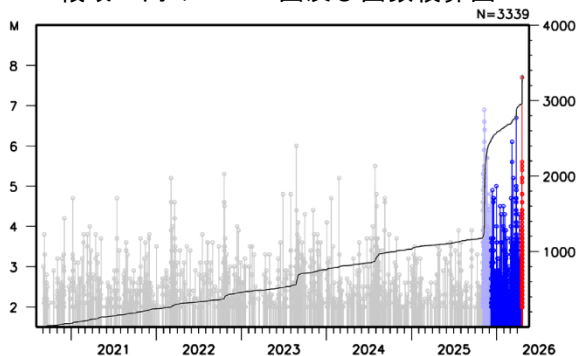
図内の赤線で囲まれた領域は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源地域

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

(2020年9月1日00時～2026年4月21日10時、
M \geq 2.0)



領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



2026年4月20日16時52分に三陸沖の深さ19kmでM7.7の地震が発生し、青森県階上町で震度5強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度5弱～1を観測した。また、秋田県内陸南部及び宮城県北部で長周期地震動階級3を観測したほか、北海道から中部地方にかけて及び新潟県で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、岩手県の久慈港^(注1)で0.8m^(注2)、北海道の浦河^(注1)で0.4m^(注2)の津波を観測するなど北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測した。

気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から19.8秒後の16時53分23.3秒に緊急地震速報(警報)を発表した。また、同日16時55分に北海道太平洋沿岸中部及び岩手県に津波警報を発表し、同日17時08分に青森県太平洋沿岸に発表していた津波注意報を津波警報に切り替えた。その後、同日20時15分に津波警報を津波注意報に切り替え、同日23時45分に津波注意報を全て解除した。

気象庁は、この地震について震源位置や規模を精査した結果、国の基本計画等に定められている、後発地震への注意を促す情報を発表する基準を満たしていることから、20日19時30分に北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表した。

この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震の震央付近(領域b)では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、2025年11月9日にM6.9の地震(最大震度4)、2026年3月26日にはM6.7の地震(最大震度4)が発生した。領域bでは、2025年11月4日から今回の地震が発生するまで、震度1以上を観測する地震が66回(震度4:2回、震度3:12回、震度2:24回、震度1:28回)^(注3)発生していた。

今回の地震により、負傷者6人などの被害が生じた(2026年4月21日08時00分現在、総務省消防庁による)。

2020年9月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域c)では、M5.0以上の地震が時々発生している。

今回の地震の震源の北側では、1994年12月28日に「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)が発生し、死者3人、負傷者788人、住家全壊72棟などの被害が生じた(被害は、日本被害地震総覧による)。

(注1) 国土交通省港湾局の観測施設

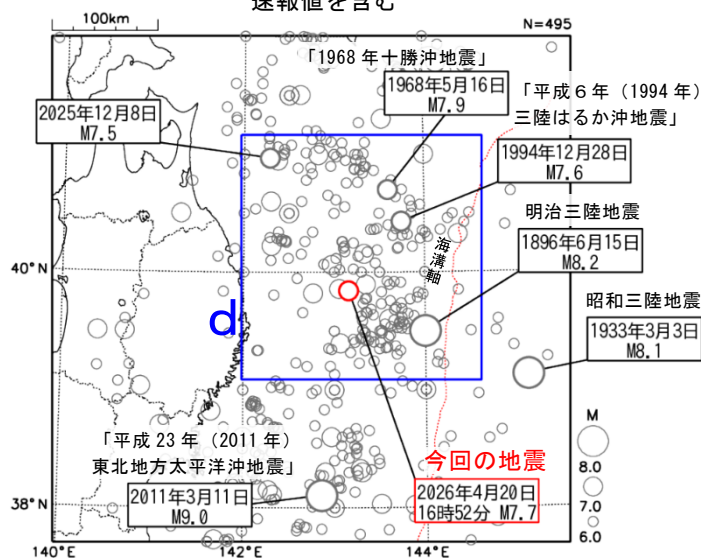
(注2) 観測値は後日の精査により変更される場合がある

(注3) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある

震央分布図

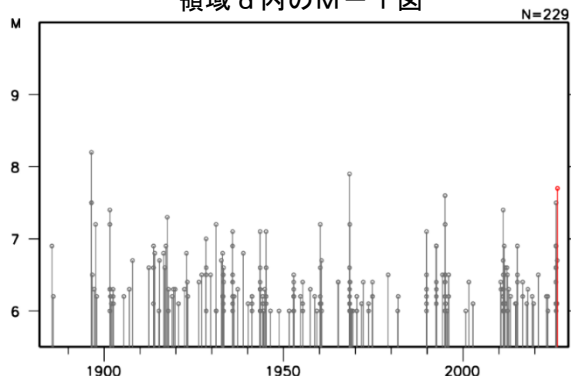
(1885年1月1日～2026年4月21日10時00分、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2026年4月20日以降の地震を赤色で表示、
速報値を含む



1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。1896年6月15日には $M8.2$ の地震(明治三陸地震)が発生し、死者21,959人などの甚大な被害となった(被害は、日本被害地震総覧による)。また、1968年5月16日には「1968年十勝沖地震」($M7.9$ 、最大震度5)が発生し、青森県八戸[火力発電所]で295cm(平常潮位からの高さ)の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた(被害は、日本被害地震総覧による)。

領域d内のM-T図



宇津徳治(1982):日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表:1885年～1980年,震研彙報,56,401-463.

宇津徳治(1985):日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表:1885年～1980年(訂正と追加),震研彙報,60,639-642.

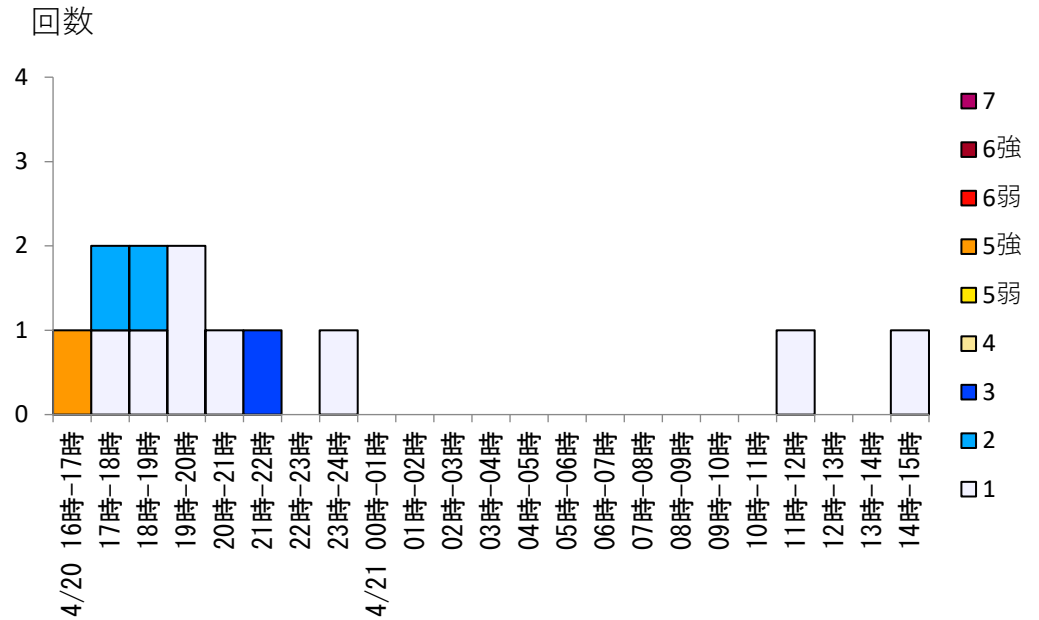
茅野一郎・宇津徳治(2001):日本の主な地震の表,「地震の事典」第2版,朝倉書店,657pp.

震度1以上の地震の発生状況

【最大震度別・日時別地震回数表】
（4月20日16時～4月21日15時）

時間別	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
4/20 16時-17時	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
17時-18時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
18時-19時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5
19時-20時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
20時-21時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
21時-22時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	9
22時-23時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
23時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
4/21 00時-01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
01時-02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
04時-05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
06時-07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
08時-09時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
09時-10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
10時-11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
11時-12時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
12時-13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
13時-14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
14時-15時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12
総計	8	2	1	0	0	1	0	0	0		12

【時間別地震回数図】

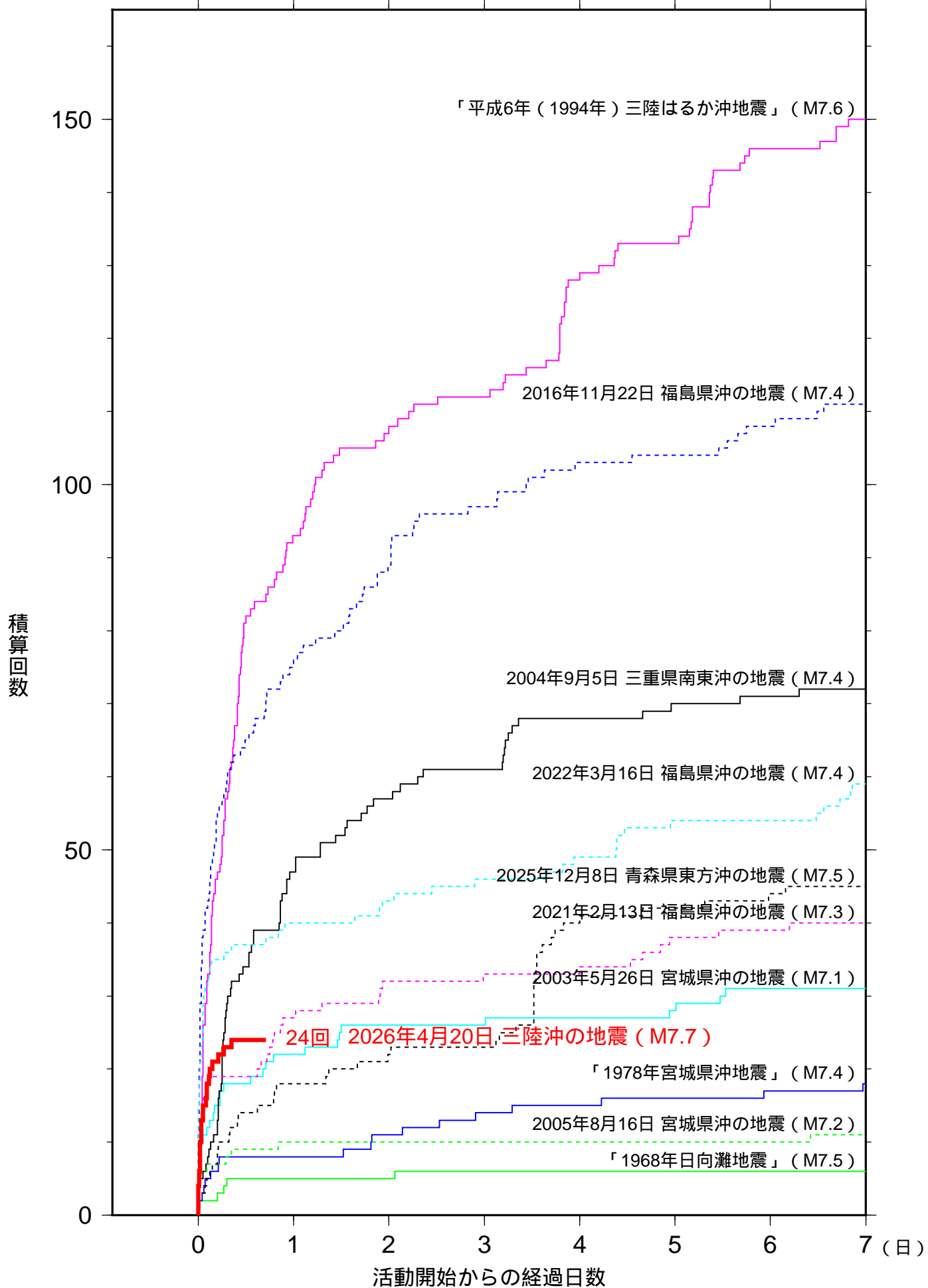


※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがある。

主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード4.0以上）

(回)

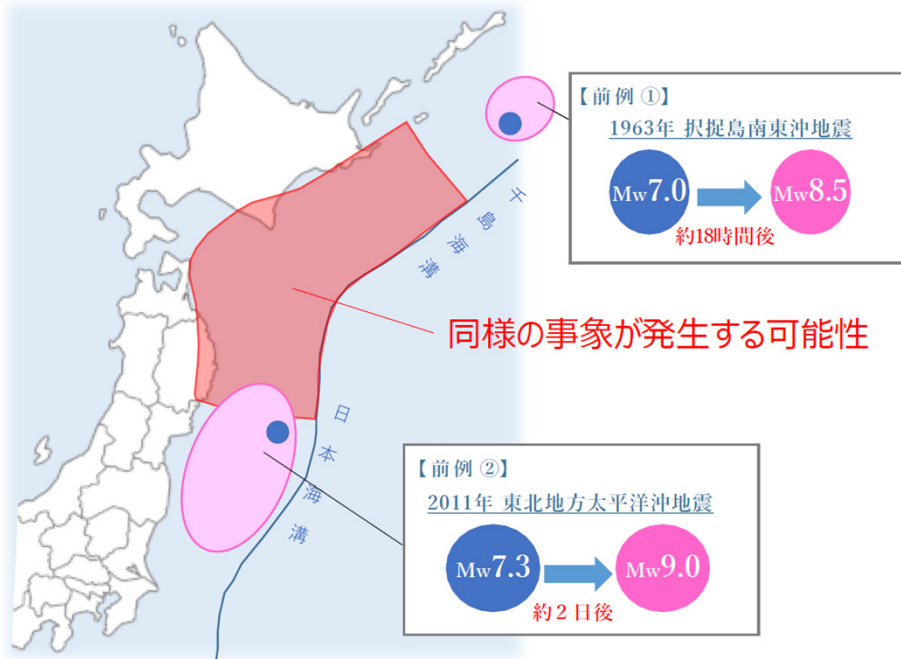
2026年04月21日10時00分現在



この資料には速報値が含まれており、後日の調査で変更することがある。
今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

(参考) 地震が続けて発生した事例

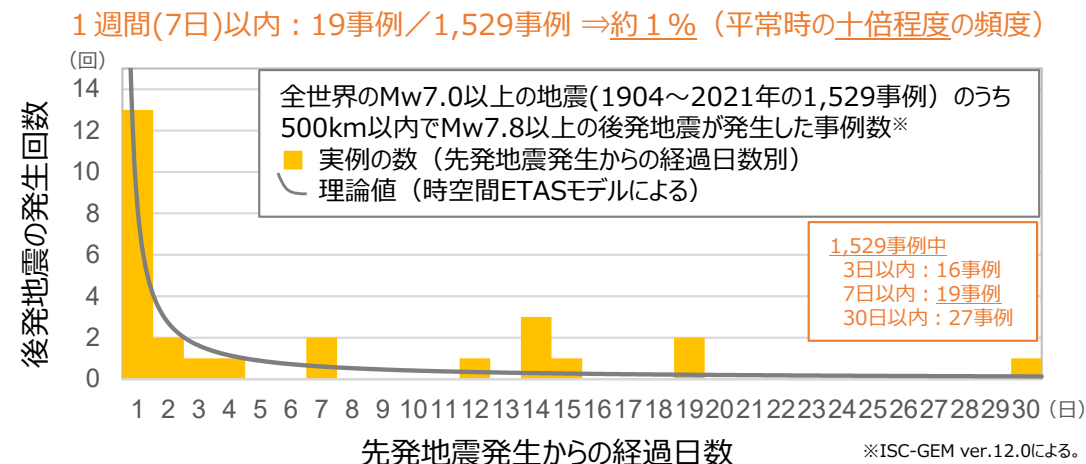
千島海溝・日本海溝沿いの事例



- 2011年に三陸沖においてMw7.3の地震が発生した2日後にMw9.0の巨大地震（東北地方太平洋沖地震）が発生。
- 1963年に択捉島南東沖においてMw7.0の地震が発生した18時間後にMw8.5の地震が発生。

過去の世界の事例

Mw7.0以上の地震に続いて、Mw7.8(M8クラス)以上の地震が発生した事例の発生パターン



- Mw7.0以上の地震発生後、7日以内にMw 8クラス以上（Mw7.8以上）の大規模地震が発生するのは、百回に1回程度。
- 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」では、後発地震が実際に発生する確率は低いものの、巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するために、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることをお知らせします。
- 後発地震が発生する可能性は、先に発生した地震が起こった直後ほど高く、時間を経るにつれて低くなっていきますが、ゼロになるわけではありません。

(参考) 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

<北海道・三陸沖後発地震注意情報とは>

- 日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域で一定規模以上の地震が発生した場合等に、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に発表される情報
- 運用開始：令和4年12月
- これまでの発表履歴：2回

後発地震注意情報発表日	情報の種類	後発地震注意情報発表のきっかけとなった現象		
		発生日	震央地名(地震名称)	モーメントマグニチュード
令和7年12月9日02時00分	北海道・三陸沖後発地震注意情報	令和7年12月8日23時15分	青森県東方沖	7.4
令和8年4月20日19時30分	北海道・三陸沖後発地震注意情報	令和8年4月20日16時52分	三陸沖	7.4

